

じどうしつだより No. 75 (2011. 4発行)

読んでみませんか 児童室がえらんだえほん

本の情報	内容
<p>『スティーヴィーのこいぬ』</p> <p>マイラ・ベリー・ブラウン文 ドロシー・マリノ絵 まさきるりこ訳 あすなる書房 2011.1</p> <p>1110129853</p>	<p>あるあさ、スティーヴィーは、にわのきのしたでこいぬを見つけました。しっぽをちぎればかりにふってよろこぶこいぬがかわいくて、うちの中につれて行きますが、おとうさんもおかあさんもどこかのおうちのこだといって、かいぬしをさがします。スティーヴィーはうちでかいたくて、いっしょうけんめいせわをするとうったえますが…。</p>
<p>『ちびくまくん、おにいちゃんになる』</p> <p>エマ・チチェスター・クラーク作・絵 たなかあきこ訳 徳間書店 2011.1 1110118457</p>	<p>ママがおとまりにでかけてしまって、さびしいちびくまくん。おばあちゃんやパパがかわりに、本をよんだりごはんをつくったりしてくれますが、ママがするのはちがいます。いいこでまっていたら、すてきなプレゼントをもってかえってくるとママにいわれてがまんしましたが、帰ってきたママは、あかちゃんとはかりいて、ちびくまくんとはあそんでくれません。</p>
<p>『トンノのひみつのプレゼント』</p> <p>田中きんぎょ作 みやざきひろかず絵</p> <p>BL出版 2010.12</p> <p>1110107201</p>	<p>きょうはおかあさんのたんじょうび。子ブタのトンノは、ひみつのばしょにかくしておいたプレゼントをとりにいきたくて、お手伝いをたのまれても、うそをついてでてきてしまいました。ひみつのばしょに行くと、ウサギのおばさんや子ジカのマーキがいるではありませんか。ないしょにしておきたいトンノは、ふたりにも、うそをついてしまいました。</p>
<p>『ブロントリーナ』</p> <p>ジェイムズ・ハウぶん ランディ・セシルえ 長野由紀訳 新書館 2010.12</p> <p>1110104228</p>	<p>さよつりゅうつのプロントリーナには、バレリーナになるというゆめがありました。しかし、からだが大きすぎるし、あしにあうシューズもありません。バレエ教室の先生は、こまってしまいました。せいとたちのねがいをききいれて、ブロントリーナを教室に連れてやりました。レッスンにはげむブロントリーナ。でも、大きすぎるからやっぱりむりと先生にいわれて…。そんなとき、ブロントリーナに、すてきなプレゼントがとどきました。</p>
<p>『むこうがわのあのこ』</p> <p>ジャクリーン・ウッドソン文 E. B. ルイス絵 さくまゆみこ訳 光村教育図書 2010.11</p> <p>1110093732</p>	<p>クローバーの家と、となりの家の間にはおおきな柵がある。柵の向こう側には白人たちが住んでいて、ママは、柵の向こう側に行ってはいけないと言う。その夏、アニーという白人の女の子が柵のところに来てきた。クローバーとアニーは、柵の上にこしかけて話をすることにした。そのうち、クローバーのともだちも、アニーと一緒に遊ぶようになり、心を隔てる柵はなくなっていく。</p>
<p>『ライオンのすてきないえ』</p> <p>西村敏雄作 学研教育出版 2010.11</p> <p>1110084573</p>	<p>だいくのさるが、もりのひろばにライオンのいえをたてていました。ぶたがてつだわせてほしいといいましたが、さるはことわりました。だけど、さるがひとやすみしているあいだに、ぶたは「すこしやっておいてあげよう」と、かってにいえずくりをてつだいはじめました。そこへ、いろいろなどうぶつたちがてつだいにやってきて、すきなようにつくりはじめました。どんないえができてあがるのでしょうか。</p>